

# ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2009年2月

## コミッティ活動

### **Regulatory:** 担当森田([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

2月13日、Japan Regulatory Committeeが開催され、2008年12月に経済産業省(METI)から発表された産業構造審議会商品取引所分科会報告書(案)についての話し合いが行われた。2008年前半からMETIと農林水産省(MAFF)によって、産業構造審議会商品取引所分科会が数回開かれており、分科会では本邦コモディティ市場の強化と改善方法について議論が交わされてきた。議論の結果がまとめられた上記の報告書(案)をベースに、今国会に提出される予定の商品取引所法の改正案が作成される予定。

### **Collateral:** 担当森田([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

東京市場におけるOTCデリバティブ取引の担保化に関する市場調査が、Japan Collateral Committeeのメンバーを対象に行われた。調査の目的は東京市場で活動するデリバティブディーラーとエンドユーザーの間での担保の使用状況、管理の現状など、ローカル市場でのプラクティスについて追跡するための有益な情報を得ること。回答期限は3月2日。

### **Credit Derivatives:** 担当難波([knamba@isda.org](mailto:knamba@isda.org))

Japan Credit Derivatives Committeeのミーティングが2月17日に開催された。議題は、Auction Supplementと関連のドラフト文書、新しいSupplementを導入するにあたってのCredit Eventの手続き、並びに新しい形式となるJapan CDS market surveyについて。さらにISDAは、北アメリカとヨーロッパで予定されている市場慣行の変更点についてアップデートを行った。

### **Equity Derivatives:** 担当難波([knamba@isda.org](mailto:knamba@isda.org))

Japan Variance Swap Working Groupのミーティングが2月23日と27日の両日開催され、Japan share variance swap marketにおけるMDEの決定に関するアプローチについて、討議が続けられた。参加者の同意を得た新しいプラクティスが、Market Practice Statementとして3月に発行される予定。

Japan Equity Derivatives Committeeのメンバーによる電話会議が2月24日に行われた。主な議題は新規プロジェクト決定の方法、新しいequity documentationのストラクチャー、Interdealer Share Swap AnnexesプロジェクトとBasket Optionプロジェクトという2つの新しいdocumentationプロジェクトについて。

### **Operation:** 担当難波([knamba@isda.org](mailto:knamba@isda.org))

2月25日、ISDAは東京証券取引所、日本証券クリアリング機構並びに証券保管振替機構による「OTCデリバティブのポストトレード処理の整備に関する研究会」の第6回勉強会に参加した。主な議題は、日本におけるセントラルカウンターパーティー制度導入の可能性について。

## コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

Japan Regulatory Committee (英語による会合)	3月3日
Japan Credit Derivatives Committee (日本語と英語による電話会議)	3月3日
Asia-Pacific Ops IRD Call (英語による電話会議)	3月5日

<b>Japan Accounting Committee</b> (日本語による会合)	3月11日
<b>Asia-Pacific Ops Equity Call</b> (英語による電話会議)	3月13日
<b>Japan Regulatory/Documentation Committee</b> (英語による電話会議)	3月18日
<b>Asia-Pacific Ops Credit Call</b> (英語による電話会議)	3月19日
<b>Japan Operations Committee</b> (日本語による会合)	日時未定